# TOKIO MARINE Topics (物流関連速報)

## アメリカ・ボルティモアの橋崩落による物流の影響

TOKIO MARINE GROUP
To Be a Good Company
東京海上日動火災保険株式会社
（2024 年 3 月 27 日）

各種ニュース報道の通り、3 月 26 日午前 1 時 30 分（日本時間同日午後 2 時 30 分）頃、アメリカ東部メリーランド州ボルティモアのパタプスコ川河口の橋に大型の貨物船が衝突し、橋が崩落する事故が発生しました。本号では、ボルティモア港を利用した物流への影響についてお伝えします。

### 1. アメリカ有数の国際貿易港であるボルティモア港

ボルティモアはメリーランド州北部の港湾都市であり、ボルティモア港は外洋からチェサーピーク湾を約 200 キロメートル遡上したところに位置しています。首都ワシントン D.C.からフィラデルフィアー帯の消費市場を背後に、全米第3位の貨物取扱量を誇ります。ボルティモア港はメリーランド州港湾局（MPA）が管理する 5 つの公共ターミナルと 12 の民間ターミナルからなり、2023 年には、同港過去最高の約 110 万 TEU コンテナを取り扱いました。

完成車の取扱量は全米トップであり、他にも産業機械、石炭、液化天然ガス、材木、ゴム製品、古紙等多様な貨物を扱っているのが同港の特徴です。

崩落したフランシス・スコット・キー橋の様子
写真：UPI/アフロ

### 2. 物流への影響

現地時間 3 月 26 日午前 1 時 30 分頃、アメリカ東部メリーランド州ボルティモアのパタプスコ川河口にあるフランシス・スコット・キー橋にコンテナ船が衝突し、橋が崩落する事故が発生しました。事故原因については引き続き調査中です。

今回崩落したフランシス・スコット・キー橋は全長およそ 3 キロで、メリーランド州とワシントン D.C.やニューヨークなどを行き来するため、1 日平均 3 万台以上の車両が通行している地域の主要な交通路であるとともに、河口近くの橋の下はボルティモア港を出入りする船舶の通り道になっています。

当社米国現地法人経由検査機関より入手した情報によると、現地時間 26 日午後時点でボルティモア港は閉鎖されており、船舶は出入りがないことを確認しています。事故調査や損害確認、橋の残骸撤去にどれくらいの時間を要し、港の閉鎖がいつまで継続するかについては、まだ情報提供されていないものの、数週間要するのではないかとの情報もあります。橋の崩落により湾内に残された船は2隻ほどで、入港待ちで停泊していた船舶は他港へ移動するものと思われます。

ボルティモア港の閉鎖期間中の代替港について、ノーフォーク、フィラデルフィア、チャールストン、ニューヨーク港に振り替えられる可能性が高いのではないかと言われています。

上記情報につきましては、あくまで現時点での状況をご報告するものです。最新情報を常にご確認いただきたく、どうぞよろ しくお願いいたします。

◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

【出典】メリーランド州港湾局 https://mpa.maryland.gov/

マリントピックスバックナンバー

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。